

平成31年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢桜丘高等学校
学校長 前田 一弘

1 教育目標

- (1) 真理を愛し、知性を磨き、自律的で創造性のある人間を育成する。
- (2) 生徒の能力と個性の伸長をはかり、健全な心身を育成する。
- (3) 自己の言動に責任を持ち、他を思いやり協調できる情操豊かな人間を育成する。
- (4) 広い視野に立って郷土を愛し、国際性豊かな人間を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ア 入学当初における生徒の進路希望は、国公立四年制大学が90%を超えており、教職員は一丸となって生徒の進路実現に取り組んでいる。
- イ 多くの生徒が誠実に学校生活に取り組んでおり、学習活動や部活動において成果をあげているが、一方で、勉学と部活動を両立させ、入学当初の進路希望を達成する生徒の割合は、必ずしも十分であるとは言えない。
個々の生徒に応じた進路の知識とその希望達成を図るためには、よりいっそう効率的な進路指導体制を構築する必要がある。
- ウ 「いしかわニュースーパーハイスクール」指定校として、「総合的な学習/探究の時間」の活動「ニューアクティヴブレイン」や各教科の授業のなかで言語活動を重視した教育活動を積極的に展開し、論理的な思考力と豊かな表現力の育成に取り組んでいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ア 校訓「質実剛健」のもと、校是「文武両道」を実践する中で、堅実に目標に向かって努力する、心身ともにたくましい人間を育成する。
- イ 「いしかわニュースーパーハイスクール」の取組を充実させ、主体的に自己の将来を考え、社会に貢献できる有為な人材の育成を図る。
- ウ 生まれ育った郷土に関する理解を深め、自信と誇りを持って、国際社会を生き抜く力を育成する。

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

- ア 教職員一人ひとりが学校経営への参画意識をもち、時代の変化に対応した柔軟で組織的な学校運営を目指す。
- イ 教職員一人ひとりが常に自己研鑽に努め、学校全体として質の高い教育活動を実践する。
- ウ 保護者や地域の期待に応え信頼を得られる、開かれた学校を目指す。
- エ 組織運営の合理化・効率化及び業務の平準化に努め、教職員一人ひとりが生徒と向き合う時間が充分にとれる職場環境を整える。

3 今年度の重点目標

- 創立100周年の節目の年を来年度に控え、建学以来の校訓・校是に基づいた教育活動を実践する。
- (1) 国際社会に貢献する人材の育成を主眼として、高い志を掲げ、その実現に向け主体的に努力でき、難関国公立大学等、志望する大学に果敢にチャレンジする生徒を育てる。
 - (2) 校訓「質実剛健」を不易のものとし、挨拶や感謝の心、規範意識やいじめを許さない姿勢など人としての基本を身に付けた、心身ともにたくましい生徒を育てる。
 - (3) 校是「文武両道」を実践するため、教職員の共通理解のもと、生徒の主体性、自己肯定感を高め、明るく活気があり、地域から信頼される学校づくりに努める。
 - (4) 組織運営・教職員の働き方の改善に対する意識を高め、より効果的な教育活動を実践する。